

わ
『環』の公共事業構想ガイドライン評価シート

		作成年月日	平成18年8月25日	
		作成部署	中丹東土木事務所	
事業名	都市計画道路小倉西舞鶴線外1線 街路事業	構想番号	構-18-3	
		地区名	舞鶴市行永～堂奥	
概算事業費	29.5億円	事業期間	平成9年度～平成20年度	
事業概要	L=946m W=6.5(16.5)m			
関連する公共事業	下水道整備事業(舞鶴市)			
ガイドライン		施工地の環境特性と目標	環境配慮・環境創造のための措置内容	環境評価
主要な評価の視点				
地球環境・自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 地球温暖化 (CO₂排出量等) 地形・地質 物質循環 (土砂移動) 野生生物 ・絶滅危惧種 生態系 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現道は幅員が狭く、歩行者や自転車との交錯により、自動車の走行に速度低下をきたしているため、これらを改善させることによりCO₂を減少させる必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩道設置により歩行者等と自動車との分離が図れ、自動車が円滑に走行出来ることによりCO₂総排出量を削減させる。 	△
	<ul style="list-style-type: none"> 水環境・水循環 大気環境 土壌・地盤環境 騒音・振動 廃棄物・リサイクル 化学物質 粉塵 電磁波・電波・日照 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現道は幅員が狭く、歩行者や自転車との交錯により自動車の速度低下が生じ、排気ガスの排出が増加する等、沿線の生活環境に悪影響を及ぼしているため、当該地域周辺での排出量の削減を図る。 ・計画路線は人家連担地を通過するため、騒音・振動等沿線に与える影響を抑制する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・歩行者等と自動車との交通分離により、交通を円滑化し、周辺地域における排気ガス排出量の総量を削減する。 ・高機能舗装の使用により、沿線に与える騒音の影響を抑制する。 	△
	<ul style="list-style-type: none"> 景観 里山の保全 地域の文化資産 伝統的行祭事 地域住民との協働 <p style="text-align: right;">など</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・現道は中心市街地の人家連担地を通過するため、街並みの景観に配慮する必要がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・車道と十分な幅員の歩道による市街地内の公共空間を整備し、良好な街並みの景観を確保する。 	△
地域の環境像	本事業箇所周辺は、小倉西舞鶴線を交通の中心とする住宅地であり、騒音、振動、交通安全及び街並み景観を含めた生活環境の維持向上を図る必要がある。			
特記事項	なし			